

<中国 外食・中食 調査レポート>

# 中国 2017 年第 4 四半期の動向 市場規模は 5%増、客数は+3%増加

2018 年 3 月 26 日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

## <外食・中食 調査レポート>

# 中国 2017 年第 4 四半期の動向 市場規模は 5%増、客数は+3%増加

外食・中食市場情報サービス『CREST®\*1』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区、トーマス・リンチ代表）は、中国 22 都市の外食・中食市場 2017 年第 4 四半期（10-12 月）の動向分析レポートを 2018 年 3 月 26 日に公表します。また、中国の外食・中食市場の動向を分析・解説する無料セミナーを 2018 年 4 月 11 日(水)に開催します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。中国（22 都市）の外食・中食市場全体は第 4 四半期において、金額市場規模で昨年同期比+5%増加し、客数で+3%増加しました。成長をけん引しているのは、Tier2(T2)都市、中国式ファストフード、テイクアウト、30-39 歳、午後の間食でした。

### ・ 中国外食・中食市場の市場規模は 5%増、客数は 3%増

酷暑の夏の後、中国（22 都市）の外食・中食市場全体は第 4 四半期において、金額市場規模で昨年同期比+5%増加し、客数で+3%増加しました。Tier2(T2)都市が増加のけん引役であり、前年同期比+4%の客数の増加に貢献し、それは Tier1(T1)都市の増加率の 2 倍に相当しています。平均支払金額は依然として Tier1(T1)都市のグループより 5 人民元の差がありますが、Tier2(T2)都市の増加速度は比較的速く、その差は現在縮小しています。西洋式ファストフードは+6%客数が増加し、第 4 四半期の市場をけん引しています。が、金額市場規模においては、中国式ファストフードは平均支払金額が前年同期比+5%高いため、第 4 四半期は金額市場規模が+9%と大幅に増加し、飛躍的な成果を上げています。

### ・ 中国式ファストフードの市場規模が+9%増

2017 年第 4 四半期に、フルサービスレストランの金額市場規模が前年同期比+2%増加しており、外食・中食全体における金額市場規模シェアは 51%であり、継続して市場を牽引していく位置にあります。ファストフード店は金額市場規模シェアが 1 ポイント減少し、30%となりました。ファストフード店の金額市場規模実数値は+9%成長しましたが、主としてそれは中国式ファストフードが牽引しています。

客数で見ると、ファストフード店のシェアは 46%で、客数実数値で+5%成長しました。客数増加は西洋式ファストフード店がけん引しており、前年同期比+6%と大幅に増加しました。この大幅増の要因としては、第 4 四半期に、次から次へと各種の新商品を発売したことと、大型チェーン店が Tier1(T1)Tier2(T2)都市で 700 店以上の新店舗をこの 1 年で投入したことが挙げられます。コーヒーショップ/ベーカリーは市場の第 2 の成

長の担い手であり、第4四半期において、前年同期比+7%の金額市場規模増加と+3%の客数増加を表しています。比較的高い客単価とよりハイエンドな食事提供することで、他業態とは差別化した“外食”体験を提供していることが成長の裏にあります。

## ・テイクアウト市場が急成長

テイクアウト市場が急成長しており、第4四半期において前年同期比+44%の客数の増加を実現しています。テイクアウト市場においては、昼食が最も重要な時間で、全食機会の33%を占めています。客数の増加は午後間食から生じており、+79%の客数増加を実現しています。業態別にみると、ファストフード店はテイクアウト市場において54%の食機会数シェアを占めています。そのうちおよそ2/3は中国式ファストフードが占めています。

一方で、コーヒーショップ/パン屋のテイクアウト市場全体に占める割合11%に過ぎませんが、前年同期比+66%と急増しています。しかしながら、テイクアウトでは先に述べたすばらしい“外食”体験を提供できておらず、平均支払金額がファストフード店より6%低くなっています。

地域別にみると、第4四半期のテイクアウト市場で、Tier1(T1)都市は金額市場規模+70%と大幅に増加しました。客数が49%増加したこと、平均支払金額が21元から24元に増加したことが市場規模増加要因です。テイクアウト市場の競争はますます激しくなっています。

## ・30-39才の外食・中食利用が増大

消費者からみると、前四半期と同様に、金額市場規模における最大の年齢グループは30-39才であり、金額市場規模シェアで32%を占めており、さらに第4四半期に前年同期比+10%金額市場規模が増加しています。2017年計でみると、年齢グループ50-54才が客数+14%、金額市場規模+17%と大きく増加しています。

## ・午後間食が急成長

食機会構成比では、昼食がやはり最もシェアが大きく38%(客数ベース)を占めています。前年同期比は横ばいです。午後間食が飛躍的に増加し、客数前年同期比+19%増加、金額市場規模前年同期比31%増加を実現しています。しかし、2017年計でみると、午後間食は前年と同水準です。平均支払金額が最も高いのは夕食で、47元(2017年計)で、昼食の1.6倍にあたります。

中国国家统计局が公開したデータによると、中国経済の成長は元来の水準を保っており、GDPの増加指数は106.8にとどまっており、累計増加指数はやはり106.9を維持して不変です。消費者物価指数CPIは第4四半期の月間、前年同期比指数が101.7から101.9の間を保持しています。中国経済は健全に安定して発展していることが分かります。このような経済状況において、外食・中食市場の増加は強固な基盤となっています。

---

## 本分析の詳細をもっと知りたい方へ

### 「中国外食・中食マーケットトレンドセミナー」4月11日開催決定

NPD グループより、中国フードサービスエキスパートである Danny Wang が来日し、中国の外食・中食市場の最新トレンドの分析をご紹介します。

詳細・申込は、以下のウェブページをご覧ください。

[http://www.npdjapan.com/information/info\\_seminar\\_china2018/](http://www.npdjapan.com/information/info_seminar_china2018/)

---

#### \*1. **CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13ヶ国で実施しています。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

#### \*2. **対象地域**

Tier1(T1)都市：北京、上海、広州、

Tier2(T2)都市：済南、武漢、長沙、成都、瀋陽、深セン、天津、合肥、重慶市、福州、アモイ、ハルビン、鄭州、南京、大連、青島アモイ、昆明、杭州

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま）さやか

TEL：03-5798-7663

FAX：03-5798-7665

Email：[npdjapan.info@npd.com](mailto:npdjapan.info@npd.com)

#### ■ 会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0074 東京都 港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000 円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 トーマス・リンチ

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会